

検診で飲酒調査

県内初 今帰仁村が実態把握

【今帰仁】今帰仁村(与那嶺幸人村長)は6日から始まった住民検診で、飲酒についての簡易アンケート「AUDIT」を導入した。村民の飲酒と健康に関する状況を把握し、村民の健康づくりにつなげることなどが目的。アルコール依存症などの治療をに
取り組む金武町の琉球病院が協力しており、同村によると県内では初めての取り組みという。

AUDITは世界保健機関(WHO)が作成。飲酒の頻度のほか、「飲み始めてやめられなかったこと」「飲酒後に罪悪感や自責の念にかられたこと」などの

頻度を尋ねる。結果は点数で評価し、得点に応じてアルコール依存症や健康被害などを判断する。同村では村民の病気の背景に飲酒の問題が関係して

これまでなく、住民の飲酒の取り組みがモデルケース
に関する実態が明らかにな
と
な
っ
て
各
地
に
広
が
っ
て
ほ
る
意
義
は
大
き
い
。今
帰
仁
村
「
し
い
」
と
期
待
を
込
め
た
。

いると分析し、住民検診にAUDIT導入を決定。検診の対象者約千人に実施し、健康増進計画の策定などの際の基礎データとして活用する。依存症が疑われる結果が出た場合は、飲酒量を減らすための「HAPPYプログラム」の受講を案内する。

琉球病院アルコール病棟の福田貴博医師は「アルコール依存症の状況を把握する自治体レベルでの調査は